

研究名：小児病棟緊急入院時の身体抑制における実態調査

1. 研究の目的

本研究は、小児急性期病棟における緊急入院患者に対する身体抑制の現状を数量的に記述し、その使用場面や理由、対象となる子どもの特徴を明らかにすることを目的とします。さらに、使用実態を可視化することで不要な抑制を減らす工夫やケア改善の指針を得て、子どもの安全とケアの質を両立し、小児領域に即した抑制最小化の取り組みへと発展させることを目指します。あわせて、身体抑制の傾向を把握することで、入院時に予測される抑制の期間や方法がある程度見通し、解除や期間短縮に向けた介入方法を検討する基盤となることが期待されます。

2. 研究の方法

- 1 研究対象：当センターにて 西暦 2025 年 7 月 1 日～2025 年 9 月 30 日までに緊急入院された方
- 2 研究期間：倫理審査委員会承認後～西暦 2027 年 3 月 1 日
- 3 利用又は提供を開始する予定日：倫理審査委員会承認後
- 4 研究方法：本研究は、国立成育医療研究センター9 階東病棟において、緊急入院した小児患者を対象とした実態調査研究であり、身体抑制の実態を記述的に明らかにする量的記述的研究デザインです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、基礎疾患、診断名、自己抜去歴の有無、医療デバイスの使用状況、抑制の有無、抑制の種類、抑制部位、抑制実施日数、抑制開始理由、抑制解除理由

4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切分からない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、個人情報を削除した情報を結びつける資料は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 眞鍋匠子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 9階東病棟 眞鍋匠子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3900）